

## 読書バリアフリーフォーラム「すべての県民に読書のよこびを ー読書バリアフリーの現状と課題ー」の結果について

令和3年3月に策定した鳥取県視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画の趣旨を県民に周知するとともに、図書館利用に障がいのある利用者の現状や公共図書館、ライトハウス点字図書館、ボランティア団体の取組を踏まえ、今後の鳥取県の読書バリアフリーの推進に向けて進むべき方向を探るため、読書バリアフリーフォーラムを開催しましたので、その結果を報告します。

### 1 開催結果

【日 時】 令和3年10月31日（日） 午後1時30分から4時30分まで

【会 場】 とりぎん文化会館 第1会議室

【主 催】 鳥取県立図書館、鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課

【参加人数】 97名（会場：60名、オンライン：37名）

#### 【内容】

#### （1）講演「だれでも読みたい本が自由に読めるような読書環境を目指して」（リモート）

講師：宇野 和博 氏（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

読書バリアフリー法の制定等、長年、障がい者の読書環境の整備に尽力されている宇野先生から、障がいと読書について分かりやすく丁寧に説明していただいた。読書バリアフリーに関する政策の概要、今後の障がい者サービスの方向性など大変興味深い内容であった。

#### 参加者の声

- ・読書バリアフリーの現状や今後の方向性など、わかりやすい内容であった。
- ・講演がスッキリとコンパクトにまとめられており、理解しやすかった。
- ・話がわかりやすく、とても役立った。

#### （2）報告「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」について

報告者：福市 信（鳥取県立図書館情報相談課 相談担当係長）

鳥取県の読書バリアフリー計画についての説明及び鳥取県立図書館のは一とふるサービス（図書館利用に障がいのある方へのサービス）について紹介した。

#### 参加者の声

- ・障がいのある方をはじめすべての県民が読書の楽しさや喜びを味わうことができることを目指して、鳥取県が全国に先駆けて取り組んでいることがわかり、とてもうれしい気持ちでした。
- ・デージー図書はもちろんだが、電子書籍についても借りられるようにしてほしい。
- ・図書の充実に加え、音声や映像素材の更なる充実も大切だと思う。
- ・AIスピーカーも見本として設置しておくといいと思う。

#### （3）パネルディスカッション

コーディネーター：宇野 和博 氏（前述）（リモート）

パネリスト：大道 進一 氏（鳥取県視覚障害者福祉協会 情報誌「声の友」編集委員）

齊藤 里依 氏（困り感を抱える子を支援する親の会「らっきょうの花」代表）

廣谷 静枝 氏 (音訳ボランティアグループ「ありんこ」代表)  
遠藤 崇仁 氏 (鳥取県ライトハウス点字図書館 情報支援員)  
福市 信 (前述)

外部のパネリスト4名から、それぞれの現状についてお話しいただいた後、参加者の質問に答える形で内容を深めていった。どのパネリストからも「周知」「広報」といったキーワードが挙がったのが印象的であった。

#### 参加者の声

- ・障がいによって読書をあきらめる人がないように、読書方法やサービス提供についてもっと周知することが必要だと思った。有意義な時間であった。
- ・障がい当事者・団体など幅広い立場の生の意見が聞けて大変勉強になった。情報が当事者団体内に留まっており、こういう機会に横とつながり、情報交換、協力できる関係ができることが理想だと感じた。
- ・発達障がいの方に対する読書サービスを今後重要視すべき。

#### (4) 機器展示

- バリアフリー図書コーナー (わいわい文庫収録タブレット端末)
- マルチメディア DAISY 図書コーナー (大活字本、LLブック、凸面点字器など)
- 拡大読書器コーナー (据え置き型拡大読書器、携帯型拡大読書器)

読書バリアフリーに関する資料や機器に実際に触れ、体験することで、読書バリアフリーに関する理解を深めてもらう場として、会場前にて実施した。閉会後も熱心に見ていかれる参加者がいた。

#### 参加者の声

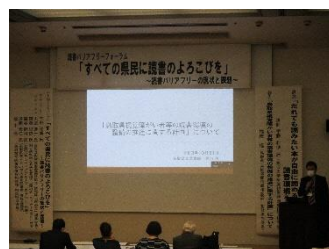
- ・視覚障がいについてのフォーラムが少ないので、展示もあり情報が得られてよかった。
- ・案内の方がとても親切だった。ひっくり返さなくても良い点字器があることをはじめて知った。

## 2 今後の取り組み

今回のフォーラムは、障がいの当事者、関係者団体、行政など多くの方に参加いただき、鳥取県立図書館の読書バリアフリー推進のきっかけとなった。今後も図書館利用に障がいのある方へのサービスを充実させていくとともに、サービスや計画のより一層の周知を図っていきたい。また、関係機関との連携を密にしながら、誰もが図書館を利用できる環境整備を進めていきたい。



講演



報告



パネルディスカッション



機器展示